

第4部 社 会 教 育

第4部 社会教育

1章 社会教育行政の方針と重点

1 方針

県民が、自己の向上を目指して生きがいのある充実した生活を送るとともに、豊かで住みよい地域社会を形成することができるよう、学びを生かしつながりをつくり出す社会教育の推進に努める。

2 重点

学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成

- ア 地域学校協働活動の促進
- イ 地域が支えるキャリア教育の充実
- ウ 子どもの読書活動の充実
- エ 家庭教育支援の充実
- オ 青少年の体験活動の充実

活力ある持続可能な地域づくりに向けた人財の育成

- ア 地域活動の実践者、コーディネーターの養成
- イ 次代の地域を担う若者の育成
- ウ 地域活動に関わる人財のネットワーク形成の支援
- エ 多様な働き方を可能にする学び直しの機会の充実

生涯を通じた学びと社会参加の推進

- ア 高齢者や障害者を始めとする多様なニーズに応じた学びの機会の充実
- イ 学習成果を生かした社会参加活動の支援

社会教育推進のための基盤整備

- ア 社会教育推進体制の充実
- イ 社会教育施設の機能の充実と活用の促進
- ウ 社会教育関係職員養成と資質の向上
- エ 社会教育関係団体等の活動の支援

人は青森県にとって「財(たから)」であるという基本的な考え方から、ここでは「人材」を「人財」と表しています。

2章 事業の概要

1節 学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成

- ア 地域学校協働活動の促進
- イ 地域が支えるキャリア教育の充実
- ウ 子どもの読書活動の充実
- エ 家庭教育支援の充実
- オ 青少年の体験活動の充実

社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業

[趣 旨]

様々な立場から社会教育活動を支援していく人財を育成し、地域の活性化を図り、市町村の社会教育主事等の資質・能力の向上を図るため、首長部局、企業、NPO法人、地域づくり団体等の地域ネットワークを活用した事業の企画・実践を支援するとともに、地元企業等と学校のネットワーク会議等を実施する事業である。

[概 要]

社会教育主事の資質・能力向上と地域課題の解決【2地区 主管：東青教育事務所・下北教育事務所】

社会教育主事等が中心となり、首長部局、NPO法人、地域づくり団体等とともに、多面的な視点で、地域に関わる課題を解決したり、地域の良さを生かしたりするための事業を企画・実践した。

ア 東青地区（蓬田村）

<地域課題解決スタートアップ研修会>

期日：6/27(火) 会場：蓬田村ふるさと総合センター 参加者数：10名

内容：事業説明、ワークショップ形式による協議

<第1回実行委員会>

期日：7/14(金) 会場：蓬田村ふるさと総合センター 参加者数：11名

内容：本事業の説明、目的の共有、村が抱える課題の明確化についての情報交換

<第2回実行委員会>

期日：9/20(水) 会場：蓬田村ふるさと総合センター ○参加者数：11名

内容：蓬田中学校 第2回避難訓練での第1回実践活動について、今後のスケジュールについて、その他について

<第3回実行委員会>

期日：12/19(火) 会場：蓬田村ふるさと総合センター 参加者数：11名

内容：蓬田中学校・中沢自治会との第2回実践活動について、今後の活動予定、スケジュールについて（地域課題解決フォローアップ研修会及び会計監査等について）

<事業の実践1>

イベント「避難所設営・運営（災害に備えて）」の開催

期日：9/28(木) 会場：蓬田村立蓬田中学校 参加者数：132名

内容：蓬田中学校避難訓練と同日に実施し、避難訓練終了後、NPO法人県防災士会三浦一郎事務局長の講演を聞いた後、避難所スペースの設営体験（防災テント

の設営及び段ボールパーティションの設置)を行った。

< 事業の実践2 >

イベント「避難所設営・運営(避難所運営体験)」の開催

期日：1/23(火) 会場：中沢公民館(蓬田村) 参加者数：45名

内容：中沢自治会住民と蓬田中学校1年生が合同で実施した。前回に引き続き、NPO法人県防災士会三浦一郎事務局長の講演を聞いた後、災害時の避難所における避難者の受付体験及び防災テントの設営並びに段ボールパーティションの設置を共同で行った。

< 地域課題解決フォローアップ研修会 >

期日：2/26(月) 会場：蓬田村ふるさと総合センター

内容：東青地区実行委員会による実践報告及び質疑応答を行った。

イ 下北地区(大間町)

< 地域課題解決スタートアップ研修会 >

期日：6/30(金) 会場：大間町開発センター 参加者数19名

内容：事業説明、ワークショップ形式による協議

< 第1回実行委員会 >

期日：7/18(火) 会場：大間町役場 参加者数8名

内容：実行委員長、副委員長の決定、活動内容及び計画について

< 第2回実行委員会 >

期日：8/2(水) 会場：大間町役場 参加者数7名

内容：実行委員会の名称、会則の確認、各ブースでの活動内容について、今後の活動予定について、次回開催日時について

< 第3回実行委員会 >

期日：8/30(水) 会場：大間町役場 参加者数7名

内容：実行委員会の名称及び開催名の決定、申請書の確認、各ブース活動内容の進捗状況、今後の活動予定について、次回開催日時について

< 第4回実行委員会 >

期日：11/14(火) 会場：大間町役場 参加者数7名

内容：各ブース活動内容の進捗状況、大間高校へのボランティア依頼について、その他について

< 第5回実行委員会 >

期日：12/4(月) 会場：大間町役場 参加者数8名

内容：「よりっとこ」イベントの成果及び反省・課題について、次年度の開催時期、課題改善、予算確保等について、その他について

< 第6回実行委員会 >

期日：1/18(木) 会場：大間町役場 参加者数8名

内容：フォローアップ研修会の発表資料の検討について、その他について

随時SNSによる意見交換を行った。

< 事業の実践 >

期日：1/26(金) 会場：大間町開発センター 参加者数：151名

内容：「より良い郷土にしたい」という想いを共有する地域人財や企業・団体等が開催するイベントを企画し、実施した。

電源開発(株)大間現地本部：工作コーナー、エネルギー展示コーナーの運営を行った。

明治安田生命相互保険会社むつ大間営業所：骨密度測定や野菜摂取量測定、脳年齢チャレンジ測定を行った。

大間町地域づくり団体ツナグ：エア遊具4台による子どもの遊び場の提供と絵本の読み聞かせを行った。

大間町地域包括支援センターくろまつ：Salon ano ano(マッサージ)の運営を行った。

大間不動産合同会社：フリーマーケットの開催と大間町食生活改善推進協議会による軽食の提供(塩おにぎりと豚汁)、大間高校ボランティアによる軽食の提供(アゲ魚っこを使った料理)を行った。

< 地域課題解決フォローアップ研修会 >

期日：2/28(水) ○会場：大間町役場

内容：下北地区実行委員会「大間郷土活性化委員会よりっとこ」による実践報告及び質疑応答を行った。

キャリア教育の推進【6地区 青森県教育支援プラットフォーム各地区実行委員会への事業委託】

ア 地元企業と学校のネットワーク会議の開催

内容：学校、企業、教育支援プラットフォーム、地域学校協働本部等の関係者同士がお互いに「顔の見える関係」を築き、地域の未来を担う人財像を共有するため、各地区において会議を開催し、学校が求める支援の内容や企業ができる支援内容をマッチングすることを目的に、関係者同士による意見・情報交換を行った。

< 東青地区 >

期日：11/22(水)

場所：青森市立金沢小学校

内容：職業講話で協力していただいた企業に、青森の未来を担うこどもたちにどういったキャリア教育を行ってあげればよいか、将来の仕事への職業観を考え、何が求められているか等を地域、企業、実行委員のメンバーで話し合った。

< 西北地区 >

期日：11/7(火)

場所：鱒ヶ沢町立鱒ヶ沢中学校

内容：働く人との対話集会の第2部で参加企業、教職員、学校運営協議会委員、行政関係者等約20名で話し合いを行い、ネットワークの構築を図った。

< 中南地区 >

期日：8/25(金)

場所：弘前パークホテル

内容：地区内高等学校卒業予定者の地元就労についての情報交換を行うとともに、早期から健全な職業観・勤労観を育成するために、「今こそチャンス！！地元で仕事する魅力！」をテーマに講演とワークショップを実施した。

講師：特定非営利活動法人スボネット弘前 理事長、一般社団法人権利擁護あい森ねっと 理事、一般社団法人みらいねっと弘前 代表理事 鹿内 葵 氏

< 上北地区 >

期日：2/16(金)

場所：十和田市商工会館1階大ホール

内容：十和田地区雇用対策協議会と共催で開催し、「若者の地元定着・離職率の改善の方法」をテーマに講演とワークショップを実施した。

講師：特定非営利活動法人プラットフォームあおもり 理事長 米田 大吉 氏

< 下北地区 >

期日：7/12(水)

場所：むつグリーンホテル

内容：むつ商工会議所と連携して、「むつ下北地区高卒者雇用対策協議会」の第2部で、県立大湊高校キャリアデザイン部の担当教諭2名が、自校のキャリア教育、就職指導について情報提供した。

< 三八地区 >

期日：9/25(月)

場所：八戸市スポーツ研修センター

内容：県生涯学習課が主催した「学校と地域のネットワークづくり」と同時開催し、企業、学校関係者、行政関係者等との話し合いを通して、ネットワークの構築を図った。

講師：特定非営利活動法人まなびのたねネットワーク 代表理事 伊勢 みゆき 氏
「我が社は学校教育サポーター」への新規登録及び登録企業の周知

各実行委員会とも関係機関と連携して情報収集しながら、新たに「我が社は学校教育サポーター」に登録する企業の新規開拓を行った。また、「我が社は学校教育サポーター」に登録されている企業について、さらなる活用を促進するために、登録企業の周知を学校等に対して行い、企業による教育支援活動の一層の充実を図った。

我が社は学校教育サポーター：新規登録企業 12社（登録予定も含む。）

< 東青地区 >

各校の職業講話の依頼時に説明した。

< 西北地区 >

学校に対しては登録企業の紹介を行い、学校・企業との連携を図った。また、企業に対しては訪問し、新規登録をお願いした。また、職業講話に参加した地元企業に対し、チラシ配布した上で登録を依頼した。

< 中南地区 >

期日：6月～1月

内容：学校6校、企業13社訪問

・新規登録企業の開拓をした。 3社

・企業周知の通信「キャリア教育ニュースレター第8号」を発行した。

< 上北地区 >

期日：随時

内容：訪問先小中学校にて「我が社は学校教育サポーター」登録企業を周知した。

< 下北地区 >

内容：教育支援活動展示会にてポスターを展示して、「我が社は学校教育サポーター」のPRを行った。また体験出前授業（ユメココ教室）の新規の講師依頼の際に「我が社は学校教育サポーター」の説明を行うとともに、職業講話を依頼する際に登録を依頼した。

< 三八地区 >

期日：10/7(土)～10/8(日)

内容：八戸市立小中野公民館まつりで、「我が社は学校教育サポーター」登録企業及び活動内容を展示した。

ウ 教育支援活動展示会の開催

企業による教育支援活動を県民に広く周知することを目的とした「教育支援活動展示会」を実施した。

< 東青地区 >

期日：1/12(金)～1/14(日)

場所：アウガ1 階駅前スクエア

内容：東青地区16企業の活動をパネルで展示した。

< 西北地区 >

期日：1/16(火)～1/26(金)

場所：五所川原市役所「市民の土間」

内容：地域で教育支援を行っている企業5社前後を紹介したものを掲示板に掲示した。

< 中南地区 >

期日：9/26(火)

場所：弘前市総合学習センター 2階大会議室

内容：県教育委員会主催の「学校と地域のネットワークづくり(中南地区)」と同時開催し、研修会参加者(学校関係者、企業及び地域活動団体関係者、教育委員会関係者等)を対象に、企業紹介のパネル展示をした。

参加企業等：12社

< 上北地区 >

期日：7/27(木)

場所：東北町未来館

内容：県教育委員会主催の「地域学校協働活動研修会(上北地区)」において「我が社は学校教育サポーター」登録企業紹介パネルと上北管内企業による教育支援活動の紹介、上北地区実行委員会の取り組み事例紹介のパネルを展示した。

< 下北地区 >

日時：7/5(水)～7/6(木)

場所：むつ来さまい館 イベントホールA

内容：11の事業所・団体が出展、下北教育事務所からの助言で地区小中学校教員対象の研修が開かれる開催日に合わせて同じ建物内で開催し、教員の方々に地域の事業所、団体による児童生徒への支援活動の周知を図った(むつ市教育委員会 むつ来さまい館が後援)。

< 三八地区 >

期日：9/25(月)

場所：八戸市スポーツ研修センター

内容：県教育委員会主催の「学校と地域のネットワークづくり(三八地区)」と同時開催し、参加企業等5社によるパネル展示を行った。

子どもの読書活動推進事業

[趣 旨]

「青森県子ども読書活動推進計画(第四次)」に基づき、読書に親しみ自主的に読書活動をする子どもたちを育成するため、子どもが読書に親しむ機会の充実、環境の整備・充実、理解と関心の普及・啓発を進める取組を展開する事業である。

[概 要]

あおもりの中学生・高校生による『大切なあなたへ薦める青春の一冊』

中学生・高校生の読書意欲の向上を図り、自主的な読書活動を促すため、県内の中学生・高校生を対象に仲間や友だちなどに薦めたい一冊の本の紹介文を募集し、優秀作品を表彰した。

また、優秀作品集（紹介文集）を32,000部、優秀作品周知ポスターを360部作成し、中学校、高等学校（特別支援学校中等部及び高等部を含む。）、図書館等に配付した。

募集期間：7/3(月)～9/15(金)

応募数：3,305点（中学生の部：33校981点、高校生の部：25校2,324点）

優秀作品受賞者一覧

<中学生の部>

最優秀賞	八戸市立市川中学校 1年 木村 結実 『風に恋う』(額賀 澪/著)
優秀賞	八戸市立立陽中学校 1年 石村 心乃佳 『1リットルの涙 難病と闘い続ける少女亜也の日記』(木藤 亜也/著) 県立三本木高等学校附属中学校 3年 村井 嵐 『水を縫う』(寺地 はるな/著) 八戸市立立陽中学校 3年 大島 穂音 『木曜日にはココアを』(青山 美智子/著) 八戸市立立陽中学校 2年 音喜多 亜子 『全力疾走するバカになれ～明るく、楽しく生きたい人に贈る75の言葉～』(勝俣 州和/著) 青森市立新城中学校 3年 元木 晴陽 『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』(汐見 夏衛/著)

<高校生の部>

最優秀賞	県立柏木農業高等学校 3年 齊藤 龍太郎 『生きてさえいれば』(小坂 流加/著)
優秀賞	県立三沢高等学校 3年 駒沢 伶奈 『勿忘草の咲く町で 安曇野診療記』(夏川 草介/著) 県立八戸商業高等学校 2年 川畑 悠 『水を縫う』(寺地 はるな/著) 県立黒石高等学校 3年 浅利 夕蘭 『コーヒーが冷めないうちに』(川口 俊和/著) 県立鯉ヶ沢高等学校 3年 勝野 紫音 『やりたいことが見つからない君へ』(坪田 信貴/著) 県立青森西高等学校 2年 佐藤 美早希 『君たちはどう生きるか』(吉野 源三郎/著)

子どもの読書活動推進大会

広く県民がこどもの自主的な読書活動の意義や重要性について理解と関心を深め、家庭・地域・学校を通じた社会全体でこどもの読書活動を推進する機運の醸成を図るため、子どもの読書活動推進大会を開催した。

日時：12/3(日) 13:00～16:00

場所：県総合社会教育センター

参加者数：116名

内容

ア 表彰式

令和5年度あおもりの中学生・高校生による『大切なあなたへ薦める青春の一冊』

・中学生の部及び高校生の部の最優秀賞及び優秀賞受賞者への表彰

・最優秀賞及び優秀賞受賞者による本の紹介

イ 講演

演題演題『本のある生活～私がこれまでに会った本～』

講師：作家 森 絵都 氏 進行：フリーアナウンサー 境 香織 氏

青森県子ども読書活動推進計画

「青森県子ども読書活動推進計画(第四次)」に基づき、読書に親しみ、自主的に読書活動をするこどもたちを育てるため、各教育事務所との協力の下、こどもの読書活動推進計画の未策定市町村等に対し、計画策定が進むように働きかけを行った。

また、啓発小冊子「絵本で豊かな親子の時間」第7版を発行し、希望する団体等へ提供を行った。

いじめ防止キャンペーン推進事業

[趣 旨]

いじめ問題への理解と認識を深めるため、いじめ防止を内容とした標語を募集し、その優秀作品をテレビを通じて視聴者へ語りかけることにより、広く県民のいじめ防止に向けた意識の啓発を行う事業である。

[概 要]

いじめ防止標語コンクール

小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校に在籍する児童生徒並びに一般県民から、いじめ防止を訴える標語を募集し、優秀賞6作品、審査員特別賞4作品を選定した。

募集期間：6/5(月)～8/31(木)

応募数：11,573作品(小学校7,562作品、中学校3,477作品、高等学校442作品、特別支援学校88作品、一般4作品)

受賞作品

優 秀 賞	けなすより いいとこみつけて みなえがお	青森市立新城小学校 1年 近村 欣真
	傷ついた 君の心に 気づきたい	中泊町立中里中学校 2年 成田 開
	教えてよ 君の苦しさ 半分んこ	弘前市立相馬小学校 6年 大畑 真樹
	「とめない」と そんな気持ちを 行動に	十和田市立東中学校 1年 三浦 莉子
	けしゴムで けせない ことばも あるんだよ	むつ市立奥内小学校 1年 立花 奏楽
	誰かがじゃない 君がやらなきゃ 変わらない	県立八戸中央高等学校 1年 島守 陽菜
審 査 員 特 別 賞	人叩く リアルでネットで やっちゃ駄目	つがる市立森田小学校 6年 須藤 乃愛
	耳すませ 心にひびが 入る音	弘前市立新和中学校 3年 葛西 妃莉
	目に見えぬ 心の悲鳴に 耳をすませて	県立五所川原農林高等学校 2年 青山 桃子
	考えて 言葉の重さ 相手の思い	県立八戸第一養護学校高等部 1年 二川目 心寿

テレビCMの制作・放送

ア 令和4年度制作「いじめ防止キャンペーンテレビCM」を県内民放3局で放送(4/6～4/7、5/8～5/10、8/24～8/25、8/28～9/1、9/4～9/5、1/15～1/19)。

イ 令和5年度いじめ防止標語コンクール優秀賞作品を活用したテレビCMを制作し、県内民放3局で放送(3/19、3/21～3/22)。

特別支援学校における家庭教育支援事業

[趣 旨]

障がいのある児童生徒の保護者等が、こどもの健やかな成長のために、障がいのある児童生徒の心理や行動について理解を深め、家庭における教育や卒業後の就労などについて必要な知識を習得するとともに、同じ悩みを持つ保護者同士の交流や地域住民との交流を深める機会を提供する事業である。

[概 要]

開設校	回数	時間	参加者数	主な内容
県立青森第一養護学校	5	10	36名	パン作り体験、事業所見学、ピラティス&ヨガ体験、講話(息子の「できる」を信じて～様々な取り組みで広がる世界～)
県立青森第二養護学校	3	6	27名	こぎん刺し教室、果物狩り、先輩保護者を囲んでの談話会
県立青森若葉養護学校	3	6	37名	施設見学、体験活動「バステルシャインアート」「布小物作り」
県立青森第一高等養護学校	2	4	8名	福祉に関する勉強会「障害福祉サービスの利用等について」
県立青森第二高等養護学校	4	9	43名	花植え、環境整備、茶話会、木製のカラトリー作り体験、二高養祭の準備、エアロビクスとリラクゼーション
県立盲学校	7	16	32名	花植え、地域の清掃活動参加、進路指導講話、盲導犬体験研修会、学校祭参加、点字ブロック理解啓発活動、iPad操作研修会
県立青森豊学校	3	5	61名	グラウンド整備、家族レクリエーション、コサージュ作り
県立浪岡養護学校	5	7	125名	陶芸体験「ランタン作り」、学校祭参加、ワークショップ「HSCって何だろう？」
県立弘前第一養護学校	2	7	38名	P T A 施設見学会(卒業後の進路先の見学)、レジンのアクセサリー作り
県立弘前第二養護学校	8	23	130名	運動会観賞、公共施設見学、親子レクリエーション、進路講演会、こけしの絵付け体験、弘二養祭参加、福祉施設見学、クリスマスプレゼント贈呈
県立弘前豊学校	7	12	83名	親子レクリエーション、なかまの集い、地区研修会「ここからだが元気になるピラティス」、陶芸体験「ランタン作り」、手話学習会、進路懇話会
県立八戸第一養護学校	4	11	36名	視線入力に関する研修会、美術館見学、心と体をリフレッシュ 楽しいヨガ教室、合同研修会「～親なきあとの自立に向けて～今、大切な“備え”とは」
県立八戸第二養護学校	4	10.5	120名	普通救命救急講習会、給食試食会、障害基礎年金についての学習会、卒業生の保護者との座談会

開設校	回数	時間	参加者数	主な内容
県立八戸盲学校	3	6	9名	保護者交流会(学校行事への協力)、アロマクラフト作り体験
県立八戸聾学校	5	6	58名	P T A 奉仕作業(運動会装飾、清掃、扇風機清掃)、手話・南部せんべい焼き教室
県立森田養護学校	3	10	21名	近隣地域公共施設における体験学習、ヨガ教室、お菓子の包装作業学習会
県立黒石養護学校	4	7	55名	黒石よされ講習会、こけしの絵付け体験、黒養祭準備、コサージュ作り
県立七戸養護学校	4	10	214名	福祉施設見学会、陶芸教室、県地区P連研修会「ヨガ教室」、県知P連研修会「防災教室」
県立むつ養護学校	5	8	115名	園芸教室、親子レクリエーション、父母学習会(障がい者の福祉に関する懇話会)
県立八戸高等支援学校	1	2	56名	進路学習会「卒業生の進路先について」
合計	延べ回数 82回 延べ時間 175.5時間 参加者数合計 1,304名			

地域と学校とのパートナーシップ強化事業 [重点]

[趣 旨]

県域における地域学校協働活動の更なる充実を目的として、これまでの事業により形成された人財とのつながりを活かした研修会等の開催や、地域学校協働活動推進員の配置促進を図ることなどにより、地域と学校のパートナーシップを強めるための取組を行う事業である。

[概 要]

地域と学校の交流会

ア 地域活動者・企業が学ぶ場と情報交換会

「学校が望む地域との連携・協働」をテーマに、地域学校協働活動の先進事例等について学び、またそれぞれの取組などを情報交換して、学校との連携の在り方を模索した。

地区	期 日	場 所	参加者数
三八	7/18(火)	友の会福祉会館(八戸市)	12名
中南	7/19(水)	弘前市総合学習センター	20名

対象：地域活動者・企業等

講師：特定非営利活動法人まなびのたねネットワーク 代表理事 伊勢 みゆき 氏

イ 学校と地域のネットワークづくり

学校関係者と、学校への協力を申し出ている企業や学校との連携を希望する地域活動者が一堂に会し、交流を深めながら互いの理解を促進した。(ワークショップ等で交流を図った。)

地区	期 日	場 所	参加者数
三八	9/25(月)	八戸市スポーツ研修センター	49名
中南	9/26(火)	弘前市総合学習センター	40名

対象：地域活動者・企業等、小・中・高・特別支援学校教職員・地域学校協働活動推進員、市町村教育委員会職員等

講師：特定非営利活動法人まなびのたねネットワーク 代表理事 伊勢 みゆき 氏

市町村地域学校協働活動支援

ア 地域学校協働活動研修

地域学校協働活動推進員の委嘱等について中心的な役割をする市町村教育委員会担当者及び教職員の理解を深めるため、教育委員会担当者や教職員等を対象とし、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に係る文科省の動向、県内外の先進事例等を学ぶ研修会を開催した。

地区	期 日	場 所	参加者数
東青	8 / 9 (水)	県総合社会教育センター	64名 (10名)
西北	8 / 22 (火)	つがる市生涯学習交流センター「松の館」	58名 (2名)
中南	7 / 4 (火)	弘前市立中央公民館相馬館長慶閣	73名 (15名)
上北	7 / 27 (木)	東北町コミュニティセンター未来館	73名 (7名)
下北	7 / 5 (水)	むつ来さまい館	25名 (8名)
三八	9 / 5 (火)	南部町総合保健福祉センターゆとりあ	65名 (11名)

参加者数の()は、オンラインによる参加者数(内数)

対象：市町村教育委員会職員(地域学校協働活動担当者、コミュニティ・スクール担当者等)、小・中・高・特別支援学校教職員、地域学校協働活動推進員等

講師：スクール・コミュニティ研究会 代表 岸 裕司 氏(東青・西北)

ゆめ まなびネット 代表 大谷 裕美子 氏(中南・上北・下北)

ふくしま学校と地域の未来研究所 代表 安齋 宏之 氏(三八)

イ 市町村地域学校協働活動相談支援

安定的な地域学校協働活動推進のために、市町村の本部整備や推進員配置、これらの有効な活用について、課員や統括的な役割を担う地域学校協働活動推進員(地域学校協働活動コーディネートアドバイザー)が相談対応するほか、先行市町村等を仲介するなどして、課題解決のためのサポートを行った。

○内容：地域学校協働本部の整備及び地域学校協働活動の推進に向けた相談対応、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に向けた先進事例等の紹介等

○実績

5 / 18 (木) 第1回平内町地域学校協働本部運営委員会

対象：平内町立学校職員、社会教育関係者、PTA関係者、地域・ボランティア等関係者、地域学校協働活動推進員

5 / 23 (火) 五所川原市教育委員会地域学校協働活動研修情報交換会

対象：地域学校協働活動推進員

8 / 2 (水) 弘前市教育自立圏研修会

対象：学校運営協議会委員、地域コーディネーター

10 / 12 (木) 学区まなびい講座運営担当者研修会(弘前市)

対象：各学区まなびい講座運営委員長、関係小学校長、中央公民館職員

11 / 29 (水) 第2回地域学校協働活動に係る事務連絡会議(青森市)

対象：教頭または地域連携担当教員、地域学校協働活動推進員、協働活動サポーター

12 / 8 (金) 弘前市立松原小学校第3回学校運営協議会

対象：学校運営協議会委員、担当教職員

2 / 8 (木) 第2回平内町地域学校協働本部運営委員会

対象：平内町立学校職員、社会教育関係者、PTA関係者、地域・ボランティア

等関係者、地域学校協働活動推進員

ウ C Sマイスター派遣事業（文部科学省）プッシュ型派遣への対応

文部科学省の事業により、青森市、八戸市、平内町、鶴田町、藤崎町の5市町と、西北管内の高等学校を対象とした研修会にC Sマイスターを派遣した。

○研修会の概要

9/20(水) 青森市教育委員会主催研修会

講師：出口 寿久 氏（北海道科学大学教授）

対象：教育委員会担当者、小中学校の管理職、C Sディレクター

内容：C Sの概要（法的根拠、必要性など）紹介とワークショップ体験（熟議の実際。ファシリテートの方法等）、質疑応答等

9/21(木) 平内町教育委員会主催研修会

講師：出口 寿久 氏（北海道科学大学教授）

対象：C S設立準備委員、教育委員会担当者

内容：C Sの概要（法的根拠、必要性など）紹介とワークショップ体験（熟議の実際。ファシリテートの方法等）、質疑応答等

10/11(水) 八戸市教育委員会主催研修会

講師：高野 睦 氏（秋田県由利本荘市立本荘東中学校教諭）

対象：教育委員会教育長、職員（指導主事他）

内容：C Sの概要（法的根拠、必要性、「任用に関する意見」等について）紹介とワークショップ体験（熟議の実際。ファシリテートの方法等）、質疑応答等

10/24(火) 鶴田町教育委員会主催研修会

講師：高野 睦 氏（秋田県由利本荘市立本荘東中学校教諭）

対象：教育委員会教育長、職員（指導主事他）

内容：「特性を活かした学校づくりと地域住民との連携」C Sの概要（法的根拠、必要性など）紹介とワークショップ体験（熟議の実際。ファシリテートの方法等）、質疑応答等

10/25(水) 藤崎町教育委員会主催研修会

講師：高野 睦 氏（秋田県由利本荘市立本荘東中学校教諭）

対象：教育委員会教育長並びに担当者と学校評議員

内容：C Sの概要（法的根拠、必要性など）紹介とワークショップ体験（熟議の実際。ファシリテートの方法等）、質疑応答等

11/15(水) 県教育庁生涯学習課主催研修会

講師：出口 寿久 氏（北海道科学大学教授）

対象：西北地区県立学校の校長、教頭他

内容：C Sの概要（法的根拠、必要性など）紹介と質疑応答等

モデル県立学校への地域学校協働活動推進員配置

学校運営協議会を設置している県立学校のうち3校にモデル校として推進員を配置し、県立学校におけるコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進と、教職員の働き方改革への効果等について、令和7年度に検証を行う。

○モデル校：県立黒石高等学校、県立森田養護学校、県立八戸高等支援学校
（学校運営協議会制度導入済みの県立学校より3校）

学校・家庭・地域連携協働推進事業

1 地域学校協働活動推進事業（県事業）

[趣 旨]

地域全体で未来を担うこどもたちの成長を支え、地域を創生する地域学校協働活動を継続的・安定的に実施する体制づくりを支援する事業である。

[概 要]

会議の開催

県内における地域学校協働活動の総合的な在り方や、児童の放課後対策の諸問題について協議するとともに、市町村担当者を対象とした連絡会議を開催し、地域学校協働活動及び放課後子ども総合プランの推進を図った。

ア 地域学校協働活動推進委員会

期日：2/9(金)

場所：県立図書館4階 集会室

委員

	氏名	所属等	備考
1	松浦 淳	青森中央短期大学幼児保育学科 非常勤講師	委員長
2	桐村 豪文	弘前大学大学院教育学研究科 准教授	
3	會津 隆史	五所川原市立三輪小学校 校長	副委員長
4	富樫 克輝	八戸市立膠中学校 校長	
5	横岡千和子	県PTA連合会 会長	
6	工藤知久子	青森市浦町中学校区学校運営協議会 CSディレクター	
7	沢田真由美	鶴田町 地域学校協働活動推進員	
8	木村 繁春	青森県立森田養護学校 地域学校協働活動推進員	
9	百川 弘通	青森県立黒石高等学校 地域学校協働活動推進員	
10	島脇 一夫	青森県立八戸高等支援学校 地域学校協働活動推進員	
11	秋庭 誠一	鶴田町教育委員会社会教育班 班長	
12	境 真宏	五戸町教育委員会教育課社会教育班 主事	
13	蒔苗 元	弘前市健康こども部こども家庭課 課長	
14	大塚 靖子	青森市福祉部子育て支援課 放課後児童支援員	
15	横山 栄子	名川なかよクラブ 放課後児童支援員	

イ 放課後子ども総合プラン市町村担当者連絡会議

期日：6/21(水)

場所：県総合社会教育センター 第1研修室及び第5研修室

対象：市町村放課後子ども総合プラン担当者（社会教育主管課及び福祉部局）

参加者数：65名

研修の実施

ア 地域学校協働活動推進のための研修【主管：県総合社会教育センター】

地域学校協働活動の推進に向けて、地域と学校が協働する仕組みづくりに関わる市町村教育委員会担当者や地域学校協働活動推進員等の資質向上を図った。

期日：6/2(金)

場所：県総合社会教育センター 第1研修室

対象：市町村教育委員会担当者、地域学校協働活動推進員、地域コーディネーター等

参加者数：67名（会場41名、オンライン26名）

内容：講義 「地域と学校の連携・協働の推進について」

講師 檜葉町地域学校協働センター長

檜葉町教育委員会 指導主事 猿渡 智衛 氏

事例報告 「子どもたちの輝く未来応援団」～地域全体での子育てを目指して～

今別町教育委員会 主幹 大馬 義明 氏

今別町教育委員会

統括的地域学校協働活動推進員 工藤 清子 氏

「五戸町地域学校協働活動の取組について」

五戸町教育委員会社会教育班 主事 境 真宏 氏

「学校運営協議会と地域学校協働活動」

三沢市教育委員会生涯学習課

課長補佐兼生涯学習係長 柿崎 竜平 氏

イ 放課後子ども総合プラン支援員等研修会【主管：各教育事務所】

放課後対策等に関わる地域人財を対象に、学習・体験活動等の企画・実施方策、安全管理方策等の資質向上を図るための講義や、他の事業関係者等との情報交換・情報共有を図るため、合同の研修会を開催した。

回数：12回

対象：地域学校協働活動推進員等、協働活動支援員、協働活動サポーター、特別支援・共生社会サポーター、放課後児童支援員等

参加者数：計1,082名

東青	前期	<p>【期日】6/13(火)、14(水) 【会場】県総合社会教育センター</p> <p>【参加者数】137名</p> <p>【内容】講義・演習「子どもに起きやすいけがや事故への手当てと予防」</p> <p>日本赤十字社青森県支部 事業推進課長 山野内 博見 氏</p>
	後期	<p>【期日】9/12(火)、13(水) 【会場】県総合社会教育センター</p> <p>【参加者数】104名</p> <p>【内容】実技研修「レッツエンジョイ 自然大好き」</p> <p>青森県立梵珠少年自然の家 研修課長 新山 隆男 氏</p> <p>社会教育主事 土岐 正純 氏</p>
西北	前期	<p>【期日】6/2(金)</p> <p>【会場】柏ふるさと交流センター「ハーモニー未来館」</p> <p>【参加者数】105名</p> <p>【内容】講義・演習「子どもの捉え方や気持ちの理解と支援」</p> <p>青森明の星短期大学 子ども福祉未来学科 准教授 高橋 多恵子 氏</p>
	後期	<p>【期日】10/5(木)</p> <p>【会場】柏ふるさと交流センター「ハーモニー未来館」</p> <p>【参加者数】82名</p> <p>【内容】講義・実技研修「運動で子どもたちを元気に！」</p> <p>一般社団法人BLUE ties Impression 代表理事 川戸 元貴 氏</p>

中 南	前期	【期日】7/11(火) 【会場】青森県武道館補助競技場 【参加者数】46名 【内容】実技研修「コーディネーショントレーニングで体を動かそう」 NPO法人日本コーディネーショントレーニング 認定普及員 乗田 俊子 氏
	後期	【期日】9/13(水) 【会場】弘前市中央公民館相馬館長慶閣 【参加者数】35名 【内容】講義・演習「放課後の子どもたちの居場所づくりのために ～放課後子ども総合プランの意義と支援員の役割～」 岩手大学教育学部 准教授 深作 拓郎 氏
上 北	前期	【期日】6/7(水) 【会場】六戸町文化ホール 【参加者数】184名 【内容】講義・演習「特別な支援を必要とする子どもの自主性・社会性を伸ばす支援 のあり方～生きづらさを軽減しオーダーメイドの支援を～」 青森県発達障害者支援センターDoors(県南地域) センター長 社会福祉士・公認心理師 分枝 篤史 氏
	後期	【期日】10/30(月) 【会場】小川原湖青年の家 【参加者数】78名 【内容】講義・演習「今日の『楽しい』がその子の10年後の未来につながると 信じて～日常の延長線上に遊びのヒントがある～」 岩手県立児童館 いわて子どもの森 チーフプレーリーダー 長崎 由紀 氏
下 北	前期	【期日】6/13(火) 【会場】むつ市中央公民館 【参加者数】84名 【内容】講義・演習「子供の姿からはじめるよりよい支援」 青森明の星短期大学 子ども福祉未来学科 准教授 高橋 多恵子 氏
	後期	【期日】10/18(水) 【会場】むつマエダアリーナ 【参加者数】73名 【内容】講義「地域学校協働活動を支える支援員の役割、存在意義」 県教育庁生涯学習課 地域連携推進GM・主任社会教育主事 工藤 健夫 氏 実技研修「レッツ エンジョイ 運動遊び」 むつ市ウェルネスパーク インストラクター 黒田 英知 氏
三 八	前期	【期日】6/8(木) 【会場】八戸市福祉公民館 【参加者数】83名 【内容】講義・演習「子どもたちの居場所づくりのために ～放課後子ども総合プランの意義と支援員の役割～」 岩手大学教育学部 准教授 深作 拓郎 氏
	後期	【期日】10/17(火) 【会場】八戸市福祉公民館 【参加者数】71名 【内容】実技研修「遊びのマイスターから学ぼう ～身近なものを使って楽しむ遊び講座～」 NPO法人子どもネットワーク・すてっぷ 代表理事 奈良 陽子 氏

統括的な役割を担う地域学校協働活動推進員の配置

県内の地域学校協働活動を推進するため、統括的な役割を担う地域学校協働活動推進員(地域学校協働活動コーディネートアドバイザー)を配置し、市町村教育委員会との連絡調整、地域学校協働活動の理解促進、情報提供等を行った。

< 主な活動実績 >

○情報提供等

- ・平内町地域学校協働本部運営委員会（R5.5.18、R6.2.8）
- ・五所川原市教育委員会地域学校協働活動研修情報交換会（R5.5.23）
- ・弘前市教育自立圏研修会（R5.8.2）
- ・学区まなびい講座運営担当者研修会（弘前市）（R5.10.12）
- ・第2回地域学校協働活動に係る事務連絡会議（青森市）（R5.11.29）
- ・弘前市立松原小学校第3回学校運営協議会（R5.12.8）

○情報発信

「みんながつながる 地域学校協働活動便り」を発行し、市町村教委、県立学校等へ配付した。

第7号（R5.6.13）、第8号（R5.9.1）、第9号（R5.10.24）、第10号（R6.1.10）、第11号（R6.3.5）

○情報収集

「全国コミュニティ・スクール研究大会（鳥取県）」や「第2回CSタウンミーティング（鱒ヶ沢町）」等に参加し、全国の先進事例や自治体の現況等の情報収集にあたった。

2 学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助

[趣 旨]

市町村が行う地域学校協働活動の推進に要する経費について、県が補助を行う事業である。

[事業内容]

未来を担う子どもたちの成長を支え、「社会に開かれた教育課程」を実現するためには、地域と学校が連携・協働し社会総掛かりで教育を行う体制を構築することが必要であることから、市町村が行う学校、家庭及び地域住民相互の連携・協働の推進に要する経費について、県が補助金を交付した。

【国庫補助1/3、県補助1/3、市町村負担1/3】

20市町村、地域学校協働本部39本部、放課後子供教室70教室

平内町 今別町 外ヶ浜町 五所川原市 つがる市 鱒ヶ沢町 鶴田町 中泊町

弘前市 平川市 大鰐町 十和田市 三沢市 六戸町 おいらせ町 むつ市

風間浦村 佐井村 三戸町 五戸町

[概 要]

地域学校協働本部及び地域の実情に応じた仕組みの下で、地域の方々の参画を得て、多様な活動が展開されている。その中でも、放課後子ども教室は、中核市の八戸市、藤崎町、七戸町、横浜町、大間町において単独費で実施している教室数を含めると21市町村81教室が開設され、地域の特性を生かしたスポーツ・文化活動等の体験活動、地域住民との交流等が実施されている。

引き続き、市町村での地域学校協働活動の取組促進が図られるよう、経費の一部を補助し、支援していく必要がある。

あおもり家庭教育支援総合事業

[趣 旨]

社会や家庭を取り巻く状況の変化に伴い、家庭教育が一層困難になっていることを踏まえ、全ての親が安心して家庭教育を行うために、今日的課題に対応した家庭教育の取組を推進するための協議を行い、地域全体で家庭教育を支援していく機運を高めるとともに、親の育ちを応援する

学びの機会の充実や支援のネットワークづくり等を行う事業である。

[概 要]

青森県家庭教育支援推進協議会の開催

今日の課題に対応した家庭教育の取組を推進するため、本県の家庭教育支援事業（学習機会の提供や支援者の活動を推進する研修等）について協議した。

構成：有識者、家庭教育支援者など 10名

回数：年2回

家庭教育学習テキスト「あおり親楽プログラム」の作成・周知

家庭教育の学習を推進するため、「あおり家庭教育アドバイザー」が活用する家庭教育の学習テキストを作成する。また、「あおり親楽プログラム」の活用促進を図るためのリーフレットを関係各所へ配布した。

体裁：A4判小冊子「改訂版あおり親楽プログラム」1・2・3の増刷 900部

家庭を支える連携・協働セミナーの開催

家庭教育支援に携わる方が、予防的・早期対応型の家庭教育支援の体制構築の必要性、家庭教育の今日的な課題等について学習するとともに、互いのつながりを深める研修会を県内2地区で開催し、地域における家庭教育支援の充実を図った。

地区	期日	場所	参加者数	内容
東青	8/31(木)	県総合社会教育センター	23名	講義：「今必要な家庭教育支援～子どもが育つために『私』ができること」 講師：八戸学院大学短期大学部 幼児保育学科
中南	9/8(金)	県武道館	24名	教授 差波 直樹 氏 情報交換会

青森県家庭教育支援ネットワーク形成研修会の開催

社会全体で家庭教育を支援するため、家庭教育支援に関わる方々が一堂に会し、家庭教育の今日的な課題等について学習するとともに、市町村職員及び家庭教育支援関係者等のつながりを深める研修会を開催した。

期日：12/15(金)

場所：八戸市福祉公民館

参加者数：27名

内容：講義・演習「ベアレントトレーニングで学ぶ 親と子の幸せなかかわり方」

講師 郡山家庭教育を支援する会 圓谷 円 氏

あおり家庭教育応援フォーラムの開催

地域が一体となって子どもたちを育むことについて学びを深める講演会及び様々な家庭教育支援に関する情報提供等を通して、家庭教育についての理解と認識を深め、地域全体で家庭教育を支援する意義や必要性についての普及・啓発を行った。

期日：10/22(日)

場所：県総合社会教育センター

参加者数：73名

内容：ア 講演「ママ先生が伝える 幸せ子育てのコツ」

イ 質問コーナー「教えてママ先生 子育てQ&A」

講師 玉川大学教育学部 教授 大豆生田 啓友 氏

祖父母向け孫育て研修会の開催（県地域婦人団体連合会へ委託）

家庭教育をサポートする祖父母を対象として、祖父母だからこそできる孫との関わり方、家庭教育の今日的課題等に関する研修会を開催した。

地区	期日	場所	参加者数	内容
中南	11/28(火)	黒石公民館	68名	講演：「『祖父母向け孫育て』 ～今時の孫育て～」 講師：（一社）青森県助産師会 孫育てチーム
三八	12/3(日)	田子町中央公民館	51名	蛭名 えり子 氏 宮本 由美子 氏

読み聞かせの大切さを伝える「親子ふれあい読書アドバイザー」の養成（県読書団体連絡協議会へ委託）

県読書団体連絡協議会への委託により、読み聞かせの効果や家庭での読み聞かせの大切さを伝える「親子ふれあい読書アドバイザー」の養成と、読み聞かせ実践者のスキルアップを図る研修会を県内6地区で開催し、合計181名が受講した。そのうち、親子ふれあい読書アドバイザーとして新たに12名を登録した。（累計登録者数：525名）

地区	期日	場所	参加者数	内容
東青	10/28(土)	海峡の家「ほろづき」	11名	親子ふれあい読書アドバイザー 千葉 敦子 氏 今別町読み聞かせ団体 こでまりの会
西北	11/1(水)	日本海拠点館	27名	青森大学社会学部 教授 秋田 敏博 氏
中南	10/13(金)	平川市文化センター	43名	弘前市おはなしるんるん代表 齋藤 真琴 氏 工藤 光子 氏 青森大学社会学部 教授 秋田 敏博 氏
上北	9/23(土)	十和田市民図書館	48名	語りの会「こま草」 阿部 智留恵 氏 菊池 佳子 氏 佐々木 しん 氏 高橋 芳子 氏 他 3名
下北	9/9(土)	むつ市中央公民館	10名	青森大学社会学部 教授 秋田 敏博 氏
三八	11/21(火)	八戸市福祉公民館	42名	八戸市読書団体連合会 読書部会 前田 敏子 氏 青森県読書団体連絡協議会 副会長 西村 恵美子 氏

大学生とカタル！キャリア形成サポート事業 <社セ> (p.249)

高校生スキルアッププログラム推進事業 <社セ> (p.250)

青森で生きる未来人材育成事業 <社セ> (p.248)

青少年社会参加活動・創作活動モデル団体研究事業 <社セ> (p.251)

教員のためのチーム「学校・家庭・地域」連携講座 <社セ> (p.252)

あおもり家庭教育力向上事業 <社セ> (p.252)

家庭教育支援動画制作普及事業 <社セ> (p.254)

家庭教育相談事業 <社セ> (p.255)

子どもの読書活動推進のための図書セット貸出事業 <図書> (p.228)

県立梵珠少年自然の家主催事業 <梵珠> (p.235)

種差少年自然の家主催事業(自然と遊ぼう、子どもの祭典) <種差> (p.240)

自然体験活動支援事業 <種差> (p.241)

在学少年宿泊指導者研修 <種差> (p.241)

親子で学ぶ防災キャンプ事業 <種差> (p.241)

2節 活力ある持続可能な地域づくりに向けた人財の育成

- ア 地域活動の実践者、コーディネーターの養成
- イ 次代の地域を担う若者の育成
- ウ 地域活動に関わる人財のネットワーク形成の支援
- エ 多様な働き方を可能にする学び直しの機会の充実

若者の社会参加促進事業

[趣 旨]

ひきこもりやニート等の課題を抱える若者の社会参加を促進することを目的として、就労体験や自然体験活動を実施する事業である。

また、若者の社会参加を促進することを目的に、地域の青年組織、または新たに活動を始めようとする若者団体（以下、「若者団体等」）が企画立案する地域の課題等を踏まえたモデル事業を実施する事業である。

[概 要]

困難を抱えるこども・若者支援

不登校が続いている高校生やひきこもり・ニート等の課題を抱える状況にあり、社会とのつながりへのきっかけを求めている16歳～概ね40歳の若者を対象に、自然体験・交流塾を種差少年自然の家、梵珠少年自然の家等にて、それぞれ3回ずつ実施した。

< 梵珠会場 >

第1回自然体験・交流塾

期日：7/8(土) 会場：梵珠少年自然の家 参加者数：6名
内容：ニュースポーツ、野外炊事、創作活動 他

第2回自然体験・交流塾

期日：9/16(土) 会場：梵珠少年自然の家 参加者数：5名
内容：梵珠ふれあいハイク、野外炊事、ニュースポーツ 他

第3回自然体験・交流塾

期日：1/27(土) 会場：種差少年自然の家 参加者数：8名
内容：就労体験・ボランティア活動、創作活動 他

< 種差会場 >

第1回自然体験・交流塾

期日：7/22(土) 会場：種差少年自然の家 参加者数：24名
内容：せんべい焼き、創作活動、ニュースポーツ 他

第2回自然体験・交流塾

期日：9/30(土) 会場：種差少年自然の家等 参加者数：25名
内容：磯の生物観察、創作活動 他

第3回自然体験・交流塾

期日：2/17(土) 会場：種差少年自然の家 参加者数：22名
内容：就労体験・ボランティア活動、創作活動 他

< 自然体験・交流塾協力団体等連絡会議 >

第1回自然体験・交流塾協力団体等連絡会議（梵珠会場）

期日：6/20(火) 会場：梵珠少年自然の家 参加者数：5名

内容：事業説明、第1回自然体験・交流塾の詳細確認、各支援機構との個別打合せ

第1回自然体験・交流塾協力団体等連絡会議（種差会場）

期日：7/10(月) 会場：種差少年自然の家 参加者数：7名

内容：事業説明、第1回自然体験・交流塾の詳細確認、各支援機構との個別打合せ

第2回自然体験・交流塾協力団体等連絡会議（梵珠会場）

期日：3/1(金) 会場：梵珠少年自然の家 参加者数：7名

内容：参加者の成長と成果、運営における成果や検討すべき課題等について

第2回自然体験・交流塾協力団体等連絡会議（種差会場）

期日：3/8(金) 会場：種差少年自然の家 参加者数：9名

内容：参加者の成長と成果、運営における成果や検討すべき課題等について

若者の社会参加促進事業プランの実践

若者団体等の地域活動への参加や若者団体同士のつながり、地域とのつながりを形成するモデル事業プランを実施した。

< 研修会の開催 > 【サンノエールへ委託】

(下北地区)

第1回研修会

期日：8/23(水) 会場：オンラインにて実施 参加者数：4名

内容：事業内容・実践活動内容についての説明、メンバーの参集方法・団体の立ち上げ方について

第2回研修会

期日：9/28(木) 会場：オンラインにて実施 参加者数：4名

内容：団体の組織について、会則・活動計画・実施計画書の作成について

(中北地区)

第1回研修会

期日：9/2(土) 会場：estowa 参加者数：7名

内容：事業内容・実践活動内容についての説明、メンバーの参集方法・団体の立ち上げ方について

第2回研修会

期日：10/4(水) 会場：estowa 参加者数：7名

内容：団体の組織について、会則・活動計画・実施計画書の作成について

両地区合同プランの企画・実践発表会

○若者団体が1団体となったため、合同プランの企画・実践発表会は中止。

< 企画事業の実践 >

(下北地区) 【大間町地域づくり団体ツナグへ委託】

期日：12/17(日) 会場：大間町勤労青少年ホーム 参加者数：110名

内容：地域に子育て世代が室内で自由に過ごせる場所が少ないため、親子で楽しめるイベント「ふわふわ広場～MAX～」を若者団体が企画し、実施した。

エア―遊具5台によるトンネル&トランポリン、滑り台を活用した遊び場の提供

ビニールボール遊びができる場所の提供及びビニールボールの貸し出し

館内で自由に遊びができる場所の提供

ゲーム大会の開催（玉入れ、大玉ボール運び、的入れ）

協力団体による手作りクッキーの配布

（中南地区）【「Glänz」へ委託】

平川市「Glänz」へ委託し、当初事業を実施していたが、事業継続が困難となった旨の連絡が委託期間内にあり、実施状況を確認した結果、委託要項に基づき「Glänz」との委託契約を解除したため、事業は実施されなかった。

社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業（再掲）

（P 学校・家庭・地域の協働による未来を担う人材の育成に掲載）

パワフルAOMORI！創造塾 <社セ> （p.247）

地域の今と未来をつなぐキャリア教育推進事業 <社セ> （p.255）

生涯学習・社会教育関係職員研修講座 <社セ> （p.256）

3節 生涯を通じた学びと社会参加の推進

- ア 高齢者や障害者を始めとする多様なニーズに応じた学びの機会の充実
イ 学習成果を生かした社会参加活動の支援

特別支援学校を活用した生涯学習講座開設事業

[趣 旨]

県民の生涯学習推進と開かれた学校づくりの促進を目的として、県立学校（特別支援学校）の有する専門性の高い教育機能を開放する事業である。

[概 要]

学校名	期間	日数 (回数)	内 容	受講者数 (延数)
県立青森 聾学校	6～9月	7日 (7回)	手話講座	22名 (124名)
県立盲学校	7月	1日 (2回)	視覚障害者への支援と点字入門	11名 (18名)

障害者の生涯学習支援事業

[趣 旨]

特別支援学校卒業生の自立と社会参加を支援し社会性の向上を目指すことを目的として、集団学習や趣味の講座、障がい者スポーツを通して他の卒業生や在校生、地域住民等と交流する機会を提供する事業である。

[概 要]

社会参加学習

開設校	回数	時間	参加者数	主な内容
県立青森第二養護学校	5	16	230名	情報交換、レクリエーション、ボウリング教室、スポーツ体験、会報の発行
県立青森若葉養護学校	1	6	15名	体験を広げる校外学習（入級生、職員、地域の方との交流）
県立青森第一 高等養護学校	1	2.5	72名	めいせい祭参加（在校生、卒業生、保護者、職員との交流）
県立青森第二 高等養護学校	3	15	166名	情報交換、レクリエーション、学校祭参加（展示及び模擬店見学、作業体験）、ボウリング
県立盲学校	1	4	2名	学校祭参加（発表の観賞、運営の手伝い）
県立浪岡養護学校	2	4	19名	同窓会、二十歳を祝う会
県立弘前第一養護学校	3	6.5	85名	会員相互の近況報告、動画鑑賞
県立弘前第二養護学校	1	3	32名	フラワーアレンジメント教室
県立八戸第一養護学校	1	3	11名	高等部祭見学
県立八戸第二養護学校	1	3	117名	卒業生スポーツ交流
県立八戸盲学校	2	8	20名	箏教室、スポーツ体験活動（卓球バレー体験）
県立森田養護学校	3	9	118名	金魚ねぶた作り、社会参加学習、森養祭参加
県立黒石養護学校	3	9	115名	レクリエーションスポーツ、映画観賞、学習発表会
県立七戸養護学校	2	9	55名	同窓会レクリエーション、成人を祝う会
県立むつ養護学校	4	10	170名	卒業生のお知らせ、卒業生スポーツ交流会
県立八戸高等支援学校	1	4	50名	同窓会、近況報告
合 計		延べ回数	34回	延べ時間 112時間 参加者数合計 1,277名

スポーツ体験交流

実施日	開催場所	参加者数	内 容
7/9(日)	県立黒石養護学校	33名	レクリエーション的な運動
7/30(日)	県立青森第一高等養護学校	30名	ボッチャ教室
11/25(土)	県立青森若葉養護学校	22名	スポーツ交流会
12/16(土)	県立青森第二養護学校	34名	スポーツ体験会
合 計	開催回数 4回		参加者数合計119名

元気青森人を創造するeラーニング推進事業 <社セ> (p.248)

学習情報の収集・提供事業 <社セ> (p.258)

ボランティア関係機関職員養成講座 <社セ> (p.257)

青森県視聴覚ライブラリー運営事業 <社セ> (p.258)

あおもり県民カレッジ運営業務 <社セ> (p.259)

インフォメーションプラザありすの運営 <社セ> (p.261)

読書パリアフリー推進事業 <図書> (p.228)

近代文学館 特別展開催事業 <図書> (p.228)

近代文学館 企画展開催事業 <図書> (p.229)

アウトリーチサービス推進事業 <図書> (p.230)

4節 社会教育推進のための基盤整備

- ア 社会教育推進体制の充実
- イ 社会教育施設の機能の充実と活用の促進
- ウ 社会教育関係職員の養成と資質の向上
- エ 社会教育関係団体等の活動の支援

生涯学習推進基盤整備事業（生涯学習推進本部、青森県生涯学習審議会）

[趣 旨]

生涯学習振興法（生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律）の趣旨を踏まえ、本県の生涯学習推進体制を整備していくため、生涯学習推進本部等を運営する。また、生涯学習推進に資する施策の総合的な推進に関する重要事項について調査、審議するため、生涯学習審議会を運営する。

[事業内容及び結果]

生涯学習推進本部

生涯学習に関する関係部局相互の連携、協力を図り、生涯学習関連施策を一体的、効果的に進めるため、県の関係各課、出先機関等が実施する生涯学習関連事業について調査を行い、結果を取りまとめる。

青森県生涯学習審議会

第16期青森県生涯学習審議会

委員：15名

任期：2年（R4/10/19～R6/10/18）

諮問：「障害者の生涯学習の推進方策について」

審議事項：1「障害者の多様な学習活動の充実」

2「障害の有無にかかわらず共に学ぶ場づくり」

3「障害者の学びを推進するための基盤の整備」

会議等の概要

第3回審議会 5/25(木) 総合調査研究の結果報告、実地調査について

実地調査 6月下旬～8月中旬

- ・一般社団法人HachinoheClub（八戸市） 6/24(土)
- ・はまなす青年教室（青森市中央市民センター） 6/25(日)
- ・NPO法人TetoCompanyみんなのいえカラフル（大分県） 7/3(月) オンライン
- ・青森アール・ブリュットサポートセンター（五所川原市） 7/6(木)
- ・俊文書道会（八戸市） 7/8(土)
- ・障がい者支援WEBポータルサイト（三沢市障害福祉課） 7/13(木)
- ・認定NPO法人トラソス（東京都） 7/14(金)
- ・NPO法人「難病障がい児者を支えるみんなの会」（弘前市） 7/19(水)
- ・NPO法人のらんど「見沼たんぼ福祉農園」（埼玉県） 7/21(金)
- ・しょうがいしゃ青年教室&喫茶わいがや（東京都国立市公民館） 7/21(金)～7/22(土)
- ・障害者の生涯学習推進事業（秋田県大館市生涯学習課） 8/20(日)

第4回審議会	9/19(火)	実地調査の結果報告、答申骨子案について
第5回審議会	12/14(木)	答申骨子案の構成、方向性について

生涯学習・社会教育総合調査研究事業

[趣 旨]

本県における生涯学習・社会教育の推進を図るための基礎資料を得ることを目的として、生涯学習・社会教育支援体制に関する調査を行う。

[概 要]

県内の子どもの読書活動の状況及び小・中・高等学校及び特別支援学校における読書活動推進に関する現状を把握し、今後の施策の企画立案に資することを目的として調査を実施する。

調査テーマ：「子どもの読書活動推進に関する実態調査」

調査対象： 県内の小学校5年生、中学校2年生、高校2年生 約3,000人
県内すべての小学校、中学校、高等学校、特別支援学校 484校

有効回答： 小学校5年生 1,133人、中学校2年生 1,035人、高校2年生 943人
県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校435校（回収率：89.9%）

顧問の委嘱：調査研究に係る指導助言のため、大学教授等に研究顧問を委嘱する。

青森大学社会学部 教授 秋田 敏博 氏

青森中央短期大学食物栄養学科 講師 本間 維 氏

報告書：130部を印刷し関係機関に配付した。

青森県社会教育委員の会議の運営

[趣 旨]

社会教育法第17条に基づき、本県社会教育の振興方策について審議及び調査研究を行い、県教育委員会に答申、建議を行う。

[概 要]

青森県社会教育委員の会議

第36期青森県社会教育委員

委員：8名 青森県生涯学習審議会委員との兼務

任期：2年（R4/10/19～R6/10/18）

調査研究テーマ：「障害者の生涯学習の推進方策について」

青森県生涯学習審議会の審議テーマに基づき、必要に応じて調査研究を行う。

会議等の概要

第2回青森県社会教育委員の会議 11/2(木) 重点審議事項に係る答申骨子案について

市町村の社会教育に関する現状調査及び「青森県の社会教育行政」の作成

[趣 旨]

本県社会教育施策の企画・立案の資料作成を目的として、各市町村における社会教育事業実施状況及び社会教育施設・社会教育関係職員・生涯学習推進体制の状況等について調査する事業である。

[概 要]

市町村の社会教育行政調査

市町村の生涯学習推進体制等の状況に関する調査
「令和5年度青森県の社会教育行政」の作成配付（550部作成予定）

社会教育主事有資格者育成派遣事業

[趣旨]

社会教育指導体制の充実を図り、社会教育主事有資格者を育成することを目的として、教育事務所等の指導主事、小・中学校の教員を社会教育主事講習に派遣する事業である。

[概要]

派遣研修：社会教育主事講習（秋田大学）
研修期間：7/24(月)～8/18(金)
派遣者数：小学校教員2名、県教育委員会指導主事1名

生涯学習専門講座派遣事業

[趣旨]

生涯学習の振興において中核的な役割を果たす専門的職員を育成することを目的として、関係職員を中央研修に派遣する事業である。

[概要]

社会教育主事専門講座
研修期間：10/12(木)～10/13(金)、10/16(月)～10/17(火)
派遣者数：県生涯学習課 社会教育主事1名
地域教育力を高めるボランティアセミナー
受講者なし
、ともに国立教育政策研究所社会教育実践研究センター主催

社会教育主事等一般研修

[趣旨]

県社会教育関係職員が一堂に会し、県の社会教育行政の方針と重点について研修と情報交換を行い、職務遂行能力のスキルアップを図る。

[概要]

研修会の開催：第1回 4/26 県総合社会教育センター
第2回 11/27 県総合社会教育センター
第3回 2/29 県総合社会教育センター

在学青少年育成費補助事業

〔趣 旨〕

青少年教育の機会拡充をより一層図ることを目的として、県内の在学青少年（高校生）を対象とした講演会事業に対して助成を行う事業である。

〔概 要〕

主に東京及びその近郊に在住する青森県出身者並びに青森県にゆかりのある方々を講師として県内高校に派遣する講演会事業に対する助成。

期日	場 所	参加生徒数	内 容
10/5(木)	県立十和田工業高等学校	360名	演題 「原始時代から原子時代へ ～青森県で文明の歴史を考えよう～」 講師 星槎大学 特任教授 山脇 直司 氏
	県立三本木農業恵拓高等学校	572名	
10/30(月)	県立弘前工業高等学校	616名	演題 「夢を持って高校生活を」 講師 落語家 桂 歌若 氏
	県立尾上総合高等学校	168名	
11/1(水)	県立青森北高等学校	578名	演題 「生活と金融と経済」 講師 株式会社オープンハウス顧問、プロ クレーアホールディングス社外取締 役、東京経済大学非常勤理事 三國谷 勝範 氏
	県立青森中央高等学校	573名	

社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業（再掲）

（P176 活力ある地域コミュニティの形成に向けた人財の育成に掲載）

生涯学習・社会教育関係職員研修講座（再掲） <社セ> （p.256）

（P176 活力ある持続可能な地域づくりに向けた人財の育成に掲載）

ボランティア関係機関職員養成講座（再掲） <社セ> （p.257）

（P178 生涯を通じた学びと社会参加の推進に掲載）

県立図書館資料整備 <図書> （p.230）

市町村立図書館等職員研修事業 <図書> （p.231）

3章 施設と職員の状況

1節 社会教育施設の状況

1 公民館

公民館の設置状況

令和5年4月1日現在

区分	本館			分館
	中央館	地区館	計	
市計(10)	13	79	92	51
町村計(30)	25	54	79	48
合計	38	133	171	99

2 図書館

公立図書館の設置・蔵書の状況

令和5年4月1日現在

	施設名	蔵書冊数 (冊)		施設名	蔵書冊数 (冊)
1	青森県立図書館	997,875	18	つがる市立図書館	109,543
2	青森市民図書館	1,049,142	19	平川市平賀図書館	101,246
3	弘前市立弘前図書館	559,563	20	平川市尾上図書館	47,223
4	弘前市立岩木図書館	本館に含む	21	平内町立図書館	46,038
5	八戸市立図書館	449,935	22	藤崎町図書館大夢	69,824
6	八戸市図書情報センター	6,136	23	板柳町民図書館	30,790
7	八戸市立南郷図書館	62,937	24	中泊町図書館	58,896
8	黒石市立図書館	60,309	25	野辺地町立図書館	91,707
9	五所川原市立図書館	122,201	26	七戸中央図書館	32,015
10	五所川原市立図書館金木分館	6,668	27	六戸町立図書館	30,446
11	五所川原市立図書館市浦分館	2,405	28	横浜町民図書館	17,627
12	十和田市民図書館	192,646	29	東北町立図書館	54,839
13	三沢市立図書館	131,725	30	六ヶ所村民図書館	48,275
14	むつ市立図書館	157,187	31	おいらせ町立図書館	71,858
15	むつ市立図書館川内分館	5,168	32	三戸町立図書館	47,587
16	むつ市立図書館大畑分館	7,840	33	五戸町図書館	119,651
17	むつ市立図書館脇野沢分館	4,294	34	田子町立図書館	36,857

3 青少年教育施設

令和5年4月1日現在

	施設名	所在地			
		〒	住所	TEL	FAX
1	青森県立 梵珠少年自然の家	037-0611	五所川原市神山字殊ノ峰 117 - 602	0173 - 29 - 3303	0173 - 29 - 3306
2	青森県立 種差少年自然の家	031-0841	八戸市膠町字膳並平 2 - 26	0178 - 38 - 2131	0178 - 38 - 2727
3	むつ市 下北自然の家	039-4401	むつ市大畑町佐助川399	0175 - 34 - 6151	0175 - 34 - 6152
4	公立小川原湖 青年の家	039-2402	上北郡東北町大浦字道ノ下 104 - 6	0176 - 56 - 2393	0176 - 56 - 5042
5	公益財団法人青森県スポーツ協会 岩木青少年スポーツセンター	036-1345	弘前市常盤野字湯段范 1 - 2	0172 - 83 - 2338	0172 - 83 - 2732
6	青森市 浪岡細野山の家	038-1322	青森市浪岡大字細野字沢井 37 - 3	0172 - 62 - 3129	同左
7	平内町 勤労青少年ホーム	039-3321	東津軽郡平内町大字小湊字 小湊79 - 3	017 - 755 - 3945	-
8	深浦町 ふれあいと創造の館	038-2202	西津軽郡深浦町大字岩崎字 松原51 - 7	0173 - 77 - 2111	-
9	黒石市 スポーツ交流センター	036-0306	黒石市大字内町24 - 1	0172 - 53 - 1612	-
10	野辺地町 勤労青少年ホーム	039-3112	上北郡野辺地町字中道 20 - 1	0175 - 64 - 9657	-
11	横浜町 烏帽子平自然の家	039-4154	上北郡横浜町字明神平138	0175 - 78 - 2084	-
12	大間町 勤労青少年ホーム	039-4601	下北郡大間町大字大間字 大間平41 - 7	0175 - 37 - 4346	-
13	三戸町 勤労青少年ホーム	039-0141	三戸郡三戸町大字川守田字 関根 4 - 1	0179 - 22 - 0173	0179 - 20 - 1085

2節 社会教育関係職員の状況

1 社会教育関係職員

社会教育委員の委嘱状況

令和5年4月1日現在

区分	定員数 (人)	現 員 数 (人)			委員委嘱数 (人)			
		計	男	女	学校教育 関係者	社会教育 関係者	家庭教育 の向上に 資する活 動を行う 者	学 識 経 験 あ る の 者
県	12	8	5	3	1	4	1	2
市 計 (10)	116	109	70	39	17	48	18	26
町村計 (30)	280	223	137	83	38	84	27	74
合計	408	340	212	125	56	136	46	102

教育委員会事務局の社会教育関係職員数 (人)

令和5年4月1日現在

区分	課 長		社会教育主事		派遣社 会教育 主 事	社会教育主事補		社 会 教 育 指 導 員	計
	専任	兼任	専任	兼任		専任	兼任		
県	1	0	21	5	-	0	0	0	27
市 計 (10)	8	4	2	9	0	0	0	1	24
町村計 (30)	4	25	6	16	0	0	0	4	55
合計	13	29	29	30	0	0	0	5	106

2 公 民 館

公民館職員数(人)

令和5年4月1日現在

区 分		市(10)計	町村(30)計	合 計		
本 館	中央館	館 数	13	25	38	
		館 長	専 任	3	2	5
			兼 任	9	21	30
			非常勤	1	0	1
		主 事	専 任	12	1	13
			兼 任	9	10	19
			非常勤	12	0	12
		その他	専 任	27	17	44
			兼 任	18	59	77
	非常勤		40	19	59	
	地区館	館 数	79	54	133	
		館 長	専 任	1	2	3
			兼 任	3	23	26
			非常勤	75	16	91
		主 事	専 任	1	0	1
			兼 任	0	0	0
			非常勤	125	0	125
		その他	専 任	26	5	31
兼 任			19	24	43	
非常勤	43		11	54		
分 館	館 数	51	48	99		
	館 長	専 任	0	15	15	
		兼 任	4	3	7	
		非常勤	47	30	77	
	主 事	専 任	0	0	0	
		兼 任	12	0	12	
		非常勤	0	19	19	
	その他	専 任	0	0	0	
		兼 任	0	1	1	
		非常勤	31	11	42	

公立図書館等職員数の状況

令和5年4月1日現在

	施設名	職員数						
		専任	うち 司書	兼任	うち 司書	非常勤 職員	臨時 職員	委託派遣 職員
1	青森県立図書館	22	10			12		
2	青森市民図書館	26	6				4	46
3	弘前市立弘前図書館	3		3		16		22
4	弘前市立岩木図書館							2
5	八戸市立図書館	14	7			21.1		
6	八戸市図書情報センター							7
7	八戸市立南郷図書館							7.7
8	黒石市立図書館			5		2		
9	五所川原市立図書館	8	3				1	
10	五所川原市立図書館金木分館(本館を含む)							
11	五所川原市立図書館市浦分館			3				
12	十和田市民図書館	8	2			1.5		0.7
13	三沢市立図書館							12.3
14	むつ市立図書館	5	1			17		0.4
15	むつ市立図書館川内分館			1		3.2		
16	むつ市立図書館大畑分館			1		4.2		
17	むつ市立図書館脇野沢分館			2		2.1		
18	つがる市立図書館							10.2
19	平川市平賀図書館	2		2		4		
20	平川市尾上図書館	1	1	2		2		
21	平内町立図書館			1		2		
22	藤崎町図書館大夢							6.4
23	板柳町民図書館			2			1	
24	中泊町図書館			5	1	1		
25	野辺地町立図書館	1	1	2		4.4		
26	七戸中央図書館	1	1	1		1	1	
27	六戸町立図書館			3				3
28	横浜町民図書館			6			1.8	
29	東北町立図書館	1	1			4		
30	六ヶ所村民図書館							5
31	おいらせ町立図書館							7
32	三戸町立図書館	1		1				4
33	五戸町図書館							7.1
34	田子町立図書館	1	1	4		1		

